


No.	都県 市区町村	応募団体名	活動の名称	活動の様子	該当する取組	活動の概要	活動の成果、主な実績等
1	長野県 すわし 諏訪市	田辺堰改修委員会	地域の歴史を再発見・田辺堰の水辺整備	住民参加による散策路の整備 	環境保全・景観保全 伝統の継承 教育機関との連携	地域の歴史を再発見、高島藩が宮川の直線化工事を行い残された宮川河川敷を利用して田辺堰が開削されました	散策路は、自然石を配置した休憩スペース、ぬくもりのある木製の橋梁を整備。ホタルの生息地は、川幅を広げ流速を下げネコヤナギの植栽を実施しホタルやいきもの住みやすい環境に整備。
2	長野県 ちくまし 千曲市	名月会	田毎の月 棚田の農地維持・景観保全の取組	小学生への田植え指導 	環境保全・景観保全 食育・教育	棚田オーナー制度（体験コースは田植え、草刈り（年4回）、稲刈り、脱穀の年8回程度の各行事に参加、保全コースは、作業への参加自由）名月会は、各コースを支援。	棚田貸します制度（オーナー制度）2種類の体験コースがあり、小学校や中学校の受入れも行って食農教育に貢献。名月会は棚田管理、作業の指導、交流会の実施。
3	長野県 しちみのちぐん 下水内郡 さかえむら 栄村	合同会社小滝プラス	300年後に小滝集落を引き継ぐ	 米のブランド化 コタキホワイト	移住・定住復興 その他（集落外の人々との交流活動）	2011年3月12日発生長野県北部地震からの復興活動	積雪3mを超える深雪地帯、誰もがいいなと思える里山づくりをし、古道ウォーク開催、コタキホワイトの商品化を行い集落に雇用が生まれた。古民家を再生し交流拠点施設として集落活性化している。
4	長野県 まわぐん 諏訪群 ふじみまち 富士見町	長野県富士見高等学校	GAP伝説～生徒の力はこんなもんじゃない	2017年GAPチーム結成 	若者・学生の活躍	安全・安心な農業経営のあり方を実践的な経験から学んだ。そして、トマトの素晴らしさを世界に発信したい。	先輩が残した「挑戦することの大切さ、夢は諦めなければ叶うことが実感できた!」この言葉が「バネ」になり、世界標準であるG.A.P.の実践的な経験をし、安全・安心な農業経営の理解が深められた。

No.	都県 市区町村	応募団体名	活動の名称	活動の様子	該当する取組	活動の概要	活動の成果、主な実績等
5	長野県 きたあづみく 北安曇郡 いけだま 池田町	株式会社 SouGo カミツレ研究 所	カミツレの宿 八寿恵荘	カモミール収穫体験 	環境保全・景 観保全	4万8千坪に13万株を超えるカミツレが植わっており、「八寿恵荘」では、体と心の健康維持、回復を目的とし、カミツレからのエキスを使用した「入浴」、自社農園の野菜を中心とした「食事」を提供しています。	様々なイベントを通してオーガニックライフスタイルを提案しています。30年以上続く「いけだまちひろつがみ花まつり」は四千人を超える来場者数を超え、「カミツレの里」は池田町の観光資源になっています。
6	長野県 しちいなくん 下伊那郡 まつかわま 松川町	株式会社ひだ まり	農福連携で農 業も障がい者も Win-Win	栽培したリンゴを 高速道路SAで直売 	雇用 農福連携 その他（担い 手候補）	リンゴ及びニンニク栽培による農福連携を通じて障がい者を雇用。また農産物直売により地域住民等と交流	障がい者が、確かな技術を習得し将来自立できるよう、りんごやにんにくについて、団体等から指導を受け、技術向上をめざし、生産から販売まで行うことで、生き生きと働くようになった。
7	長野県 しちみのちく 下水内郡 さかえむら 栄村	栄村	栄縁をあた たに届けたい。	赤く熟した「ししこしょう唐辛子」 	農林漁業、農 村文化体験 6次産業化	地域資源の活用を検討し、農産物の加工・販売を図る。商品の開発及びパッケージデザイン等の作成。	農林水産物の加工品として、加工トマト、米、唐辛子を使用した商品開発に着手。商品名を「栄縁（えいえん）」と命名し、栄縁シリーズの商品を増やしたいと考えている。
8	長野県 きそく 木曾郡 あげまつま 上松町	一般社団法人 上松町観光協 会	森から広がる 地域の可能性 赤沢森林浴	木曾ひのき天然林を満喫、赤沢森林浴大会 	農泊 農林漁業、農 村文化体験 教育機関との 連携	木曾ひのきの国有林「赤沢自然休養林」では森林浴をはじめ、森林に親しみながら地域振興を進めています。	森林の心地よさが健康につながることに注目され、森林セラピー基地に認定、健康増進効果が実証された。森林浴の効果は海外でも注目され、近年は海外からの来訪や取材が相次いでいる。
9	長野県 まつもと 松本市	(株)かまくらや	耕作放棄地活 用による信州産 そばの安定供給	恒例のそば振る舞いに来場者 	環境保全・景 観保全 雇用 6次産業化	消費者ニーズの高い信州産そばを耕作放棄地を活用して生産し、市場への安定供給と農村の活性化をはかった。	長野県で前例の無かったそばの大規模二期作を行い、自家製粉のそば粉を用いて、そば麺・そば茶・そば菓子などを商品化した。「そば道場」を開催し、地域のイベントに、そば振る舞いを行っている。

No.	都県 市区町村	応募団体名	活動の名称	活動の様子	該当する取組	活動の概要	活動の成果、主な実績等
10	長野県 きたさくぐん 北佐久郡 だてしなまち 立科町	立科町農山漁 村振興協議会	農と食と心 によるおもてなし	 <p>アップルバターづくり体験ツアー</p>	農泊	立科町一丸となったまちづくりで、新スタイルの農泊事業による地域活性化・社会福祉の向上を目指す。	大学生の若者の視点や社会福祉協議会の独自性を活かした意見や活動を取り込み、新スタイルの農泊事業の研究・取組により地域活性化・社会福祉の向上に繋げている。